

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲

資金の範囲には現金預金・売掛金・未収金・前払費用・敷金・貸倒引当金・未払金・前受金・預り金及び未払法人税等を含めることにしている。
なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金は法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

税込方式を採用している。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,103,763	1,220,598
売掛金	183,771	0
未収金	6,300	30,000
前払費用	196,008	148,019
敷金	465,588	440,088
貸倒引当金	1,102	0
合計	2,954,328	1,838,705
未払金	858,714	10,965
前受金	60,000	0
預り金	2,338	9,440
未払法人税等	120,000	120,000
合計	1,041,052	140,405
次期繰越収支差額	1,913,276	1,698,300

3 保証債務、担保提供資産はない。